

しずおかの生協

2019



静岡県生活協同組合連合会

目次

会長ごあいさつ・2019年度役員.....	3
生活協同組合（CO-OP）について.....	4
静岡県生活協同組合連合会概要.....	5
2018年度の取り組み.....	6
2019年度活動方針.....	12
会員生協紹介.....	14
地域購買生協の市町別組合員数.....	19
2019年度行政等各種委員の状況.....	20
大規模自然災害等緊急時の対応.....	21
（資料）コープSDGs行動宣言.....	22



静岡県生活協同組合連合会
会 長 稲 垣 滋 彦



日頃は、私ども静岡県生活協同組合連合会（以下、県生協連）の活動に対し、多大なるご理解、ご協力を賜わり、まことにありがとうございます。

2015年に国連で採択された「持続可能な開発目標」(SDGs)には、協同組合の事業と活動に大きな関わりを持つ目標があります。県生協連の活動と特に関わりのある行動目標をあげてみます。

行動目標1は、「世界から飢餓や貧困をなくし、子供たちを支援する活動の推進」です。県生協連はフードバンクふじのくにの構成団体として、労働者福祉協議会の構成団体として、共に活動を進めています。

行動目標16は「核兵器廃絶と世界平和の実現を目指す活動の推進」です。

2017年7月7日、国連で核兵器禁止条約が採択されました。その翌年、静岡県原水爆被害者の会から申し入れがあり、「ヒバクシャ国際署名をすすめる静岡県連絡会」を結成し、賛同を広げる活動をすすめています。

2016年に「協同組合の思想と実践」がユネスコの「無形文化遺産」に登録されました。それは過去のものではなくて、未来に向かって、世界が抱えている課題への解決への期待であると受け止めています。特に、幅広い人々の多様性の尊重、今、それができる組織が求められているのではないかと思います。

県生協連では、2019年度方針として「平和で安心して暮らせる活動を推進し、住みよい地域づくりへの貢献」「会員生協の活動支援につながるよう、行政や諸団体との関係づくりの強化」の2点を掲げました。会員生協や行政、地域の諸団体の皆様とともに、県民の平和でよりよい生活につながるよう取り組みを進めてまいります。変わらぬご支援をどうぞよろしくお願い申し上げます。

2019年度役員

- 会長（代表理事） 稲垣 滋彦
生活協同組合ユーコープ 顧問
- 副会長 佐竹 功
静岡県労働者共済生活協同組合前理事長
- 専務理事（代表理事）宮崎 泰成
生活協同組合ユーコープ 執行役員
- 常務理事 中村 範子
員外理事
- 常務理事 望月 美可
員外理事
- 理事 尾上 友宏
静岡県教職員生活協同組合 理事長
- 理事 加藤 恒一
浜北医療生活協同組合 専務理事
- 理事 清水 久美子
生活協同組合ユーコープ 理事
- 理事 芹澤 潤二
生活クラブ生活協同組合 専務理事
- 理事 寺西 道治
あいち生活協同組合 専務理事
- 理事 中村 千須子
生活協同組合ユーコープ 理事
- 理事 藤崎 稔
スズキ生活協同組合 常務理事
- 理事 増田 勝俊
静岡県教職員生活協同組合 常務理事
- 理事 丸山 晃弘
静岡大学生生活協同組合 専務理事
- 理事 望月 静子
生活協同組合パルシステム静岡 常任理事
- 監事 長谷川 民樹
生活協同組合パルシステム静岡 管理部長
- 監事 遠藤 さとみ
生活協同組合ユーコープ 監事

生活協同組合(CO-OP)について

生協(生活協同組合)は、「消費生活協同組合法(生協法)」に基づいて設立された人と人の結びつきによる非営利の協同組織です。生協には、購買生協(地域生協、職域生協、大学生協)、医療福祉生協、共済生協などがあります。日本国内には暮らしに密着した様々な分野で活動している 553 の生協があります。全国の生協の 2018 年度の組合員総数は 2,929 万人、総事業高は 3 兆 532 万円、地域生協の世帯加入率は約 38%です。生協は日本最大の消費者団体でもあります。

略称としてよく使われる「コープ」は、「協同組合」を表す「Co-operative(コーペラティブ)」の「Co-op」を日本語読みにしたものです。

世界に広がる協同組合

日本をはじめ世界各国にさまざまな協同組合がありますが、どの協同組合も、参加する組合員の願いを実現するために人々が自発的に手を結んだ組織です。協同組合は、19 世紀にイギリスで始まり世界各地に広がりました。

日本では、約 6,500 万人が組合員として協同組合に加入しています。業種は農林水産業・購買・金融・共済・就労創出・福祉・医療・旅行・住宅など多岐にわたり、事業高は 16 兆円にもなります。

世界の協同組合が集う国際協同組合同盟(ICA)には、109 か国から 312 の協同組合が加盟しており、加盟組織の組合員の総数は約 12 億人にも及びます。

(2018 年 10 月時点)

SDGs と協同組合

SDGs(持続可能な開発目標)を含む 2015 年 9 月の国連総会での採択文書「持続可能な開発のための 2030 アジェンダ」において、SDGs 実現に向け役割を果たすべき多様な民間セクターの一つとして協同組合を挙げています。

ユネスコ無形文化遺産への登録

ユネスコ(国際連合教育科学文化機関)は、「共通の利益の実現のために協同組合を組織するという思想と実践」を 2016 年 11 月にユネスコ無形文化遺産として登録しました。

静岡県生活協同組合連合会 概要

静岡県生活協同組合連合会（県生協連）は、9 会員が加盟している生活協同組合（生協）の連合会です。会員生協とともに県民の平和でよりよい暮らしに貢献することをめざして活動しています。

理事会は会員生協の役員を中心に構成され、各生協の事業や活動を支援するとともに、行政、友誼団体との連携をすすめています。また日本生活協同組合連合会との連絡窓口を担っています。

静岡県生活協同組合連合会プロフィール

設立 1967 年 6 月 30 日

認可 1967 年 9 月 29 日

住所 〒420-0031 静岡市葵区呉服町 1 丁目 3-14

TEL 054-253-5987 FAX 054-272-6971

URL <http://shizuoka-kenren.jp/>

区分	会員生協	事業高（千円）	組合員数（人）
地域	生活協同組合ユーコープ	52,084,255	534,181
	生活協同組合パルシステム静岡	3,115,534	29,024
	生活クラブ生活協同組合	1,076,919	4,131
	あいち生活協同組合	548,760	5,728
大学	静岡大学生生活協同組合	1,812,979	13,105
職域	スズキ生活協同組合	1,227,048	19,637
	静岡県教職員生活協同組合	300,742	27,448
共済	静岡県労働者共済生活協同組合	44,288,616	474,918
医療	浜北医療生活協同組合	444,537	4,598

* ユーコープとあいち生協の事業高・組合員数は、静岡県内での活動による数値です。

全国各地で豪雨、地震、台風による被害が発生しました。県生協連は自然災害等緊急時に備え、行政や諸団体との連携を継続的に進めています。

また、東日本大震災被災地への継続した支援活動も行っています。



>>行政の総合防災訓練への参加

静岡市・静岡県合同総合防災訓練に参加しました（2018/9/1）。静岡市からの要請を受け、全国生協連携災害対応計画(全国生協 BCP)で静岡県内の中核店舗候補のユーコープ千代田店で飲料、菓子パン、バナナを手配し、「ツインメッセ静岡・北館」にお届けし、実際の場面を想定した人や食料品の動きを体験することができました。



集積所への物資搬入の様子

>>災害ボランティア図上訓練への参加

今年で14回目となる「静岡県内外の災害ボランティアによる救援活動のための図上訓練」が常葉大学草薙キャンパス（静岡市清水区）で開催され、静岡県および各市町の行政、社会福祉協議会、災害ボランティア団体、県外の災害ボランティア団体など約350名が参加しました。

（2019/2/23～24）。静岡県生協連は、県内全域を活動エリアとする団体としてこの訓練に参加しています。



図上訓練の様子

>>日常の備え—毎月の通信訓練実施—

災害等緊急時の県生協連と会員生協との連絡手段のひとつとして、MCA 無線機による通信訓練をユーコープ、パルシステム静岡、生活クラブ、スズキ生協、静岡県労済生協との間で毎月実施しています。また、日本生協連（中央地連）とのMCA通信訓練も隔月で行っています。

>>西日本豪雨災害時のおかやまコープの取り組みを学びました（2019/3/20）

静岡県委託事業として「災害等緊急時の対策本部の対応」をテーマに、おかやまコープ常勤理事・西山修司氏をお招きし、2018年7月に発生した豪雨災害時の対応についてお話しいただきました。講演を受けて各生協の災害等緊急時の初動対応についてグループ交流を行いました。



講師の西山修司氏（おかやまコープ）

>>東日本大震災の被災地にみかんを贈りました（2018/12/19）

東日本大震災の被災地である岩手県の仮設住宅でお過ごしの方に「静岡のみかん」を寄贈しました。

みかんは静岡県ボランティア協会を通じ、岩手県の皆さんにお届けしました。



お届けした静岡のみかん

県生協連は、県内の原水爆被害者の皆さんとともに、無差別・大量破壊兵器である核兵器の廃絶を求める活動や、第五福竜丸のビキニ被災事件の地元として、ビキニ事件を語り伝える活動を行っています。



>>ヒロシマ・ナガサキ平和の旅（広島 8/5～7、長崎 8/7～9、アフター交流会 9/1）

ヒロシマの旅に組合員と家族 8 名、ナガサキの旅に組合員と家族 4 名が参加しました。

ヒロシマの旅は、リニューアルした広島平和記念資料館（東館）の見学、広島市主催平和記念式典、ヒロシマ虹のひろばなどに参加しました。ナガサキの旅では、長崎原爆資料館の見学、ナガサキ虹のひろば、長崎市主催平和祈念式典に参加しました。またアフター交流会に組合員と家族 6 名が参加し、ヒロシマの旅、ナガサキの旅の様子を報告し交流しました。



原爆ドーム前（広島）

>>3・1 ビキニ事件を伝え核兵器廃絶を求める取り組み

人類最初の水爆実験の犠牲者である第五福竜丸無線長・久保山愛吉さんをしるべ核兵器廃絶を求める取り組みとして、原水爆禁止静岡県平和行進（5月）、9・23焼津行動（9/23）、3・1 ビキニデー集会（3/1）を静岡県原水爆被害者の会などの諸団体とともに開催しました。



3・1 ビキニデー・墓参行進の様子

2018 年度の取り組み フードバンク活動

県生協連は、認定 NPO 法人フードバンクふじのくにの構成団体として運営に参画しています。



ユーコープでは、県下一斉フードドライブ（8月・1月）に全 17 店舗でフードドライブに取り組んだほか、宅配事業の物流在庫を継続的に寄贈しています。また、組合員からの返品商品で寄贈できるものも寄贈し、年間合計では 4,783kg を寄贈しました。

パルシステム静岡では家庭用災害備蓄品の買い替え時などにフードドライブに取り組み 79kg を寄贈しました。



フードドライブの様子
(ユーコープ城北店)

2018 年度の取り組み 食と健康

>>食と健康企画「タニタの健康セミナー&食と健康トーク」を行いました(2018/12/22)

広く県民を対象に、誰もが関心ある「食と健康」をテーマにした企画を開催しました。前半はタニタヘルスリンクの管理栄養士による講演を聴き、後半は“行動変容”をキーワードにテーブルごと「食と健康」をテーマに交流し、「今日からできる改善行動」を各自書き出しました。

参加者の募集にあたっては、県や静岡市の公共施設、大学・専門学校等にもチラシを置かせていただいた結果、生協の組合員でない方の参加が全体の約 3 割ありました。



講師の竹下温子静岡大学准教授

>>静岡県暮らし・環境部県民生活課との連絡会（2018/7/27）

県行政との協力・連携をすすめることを目的に、毎年「県民生活課・静岡県生協連絡会」を開催しています。県民生活課からは、静岡県の消費者行政の推進、若者向け情報提供サイトについて、第3次消費者行政推進基本計画について報告がされました。県生協連と各会員生協の取り組み報告の後、見守り体制の強化のための県と市町との連携について、若者向けサイトについて、県の消費者行政や消費者教育推進の担い手について意見交換を行いました。



連絡会の様子

>>行政の各種審議会等への参画、意見書の提出

静岡県消費生活審議会、静岡県水産振興審議会、新たな静岡茶の振興策検討委員会、静岡県食と農が支える豊かな暮らしづくり審議会などの委員を務めました。また、「静岡市食の安心・安全アクションプラン2019年度～2022年度（案）」に関する意見を提出しました。

2018年度の取り組み 諸団体とのネットワーク

>>農林水産業の協同組合との協同・連携



生産者団体（静岡県農業協同組合中央会・静岡県信用農業協同組合連合会・静岡県経済農業協同組合連合会・静岡県漁業協同組合連合会・静岡県森林組合連合会）と協同・連携



内浦漁協のいけす見学

して、富士山麓育林活動（2018/7/21）、協同組合学習交流会（2018/10/4）、安倍川流木クリーンまつり（2018/11/18）、女性交流集会（2018/12/5 沼津市・函南町）などを実施しました。女性交流集会では、内浦漁業協同組合、JA 三島・函南、ユーコープ新沢田店の見学を行い、県東部地域の生産者と消費者が交流する場となりました。

>>労働者福祉事業団体との協同・連携

一般社団法人

静岡県労働者
福祉協議会の



構成団体として、他の事業団体とともにALWF ゼミ講座*への参加、ALWF 自主研究課題「静岡県下事業所における働き方改革（女性活躍推進を含む）の実態と課題」研究会委員の派遣、生活底上げ・共助拡大キャンペーンの協賛などを行いました。



ALWF ゼミ・マネジャーコースの様子

* ALWF=公益財団法人静岡県労働者福祉基金協会

(Association of Laborers' Welfare Fund of Shizuoka Prefecture)

>>消費者問題ネットワークしずおかとの連携

県生協連は消費者問題ネットワークしずおかの事務局団体として運営に参画しています。昨年に続き「平成30年度消費生活相談員資格取得支援講座実施運営業務（静岡県委託事業）」を実施しました。独自にテキストを作成したことに加え、新たに復習テストを行うなど試験対策を強化し、10名の受講者が合格しました（合格率35.7%）。



また、静岡市消費生活展（2018/12/8-9）に出展しました。青葉イベント広場を往来する方々に契約に関する「消費者クイズ」を出題し、契約についての正しい知識をお知らせしました。

～スローガン～

行政や諸団体とのネットワークを強化し、会員生協とともに県民の平和でよりよいくらしにつながる取り組みをすすめます。

～2019 年度活動方針～

1. 平和で安心して暮らせる活動を推進し、住みよい地域づくりに貢献します。
 - (1) 自然災害等の緊急時に備える取り組みをすすめます。
 - ①会員生協や諸団体と連携した対応が円滑に図れるよう、静岡県生協連の具体的な役割を明らかにします。
 - ②行政や他団体が主催する防災訓練や図上訓練に協力・参加し、ふだんから繋がりづくりをすすめていきます。
 - ③緊急時でも正確な情報伝達がおこなえるよう、MCA 無線訓練を定期実施します。
 - (2) 核兵器廃絶と平和な社会の実現をめざした取り組みをすすめます。
 - ①「ヒバクシャ国際署名をすすめる静岡県連絡会」に参加し、静岡県内に平和と核兵器廃絶に向けた署名の輪を広げていきます。
 - ②ヒロシマ・ナガサキの歴史を見つめ、平和について考える機会を設けます。
 - ③第3の被ばく県として、ビキニ環礁における水爆実験による事件の実相を学び、核兵器の恐ろしさと平和の大切さを広げていきます。
 - (3) 組合員の関心が高いくらしに関わる取り組みをすすめます。
 - ①会員生協におけるフードバンクの取り組みの理解を深め、活動を広めていくことで、食品ロスの削減と生活困窮者の支援をすすめます。
 - ②食の安全・安心や食育に関する情報の積極的な収集と発信を通じて、組合員の健康づくりを応援します。
 - ③会員生協共通の課題や要望に則ったテーマで学習会などの企画をおこない、消費者が地域やくらしに関わる課題について自ら考え主体的に行動できる力を高める取り組みをすすめます。

2. 会員生協の活動支援に繋がるよう、行政や諸団体との関係づくり強化をすすめます。

(1) 会員生協の事業や活動に活かせるよう、会員生協同士の活動の共有や交流を深めます。

① 静岡県生協連ニュースやホームページを通じ、また各会員生協の広報部局との協力を得ながら静岡県生協連の取り組みやくらしに関係する情報を組合員に提供します。

② 協同や連携を推進し、各会員生協間の情報共有を進めるための機会を用意します。

(2) 行政や政党との関係を深め相互理解をすすめるために、定期的に懇談する場を持ちます。

① 静岡県生協連からは、静岡県生協連や会員生協の取り組みを伝えつつ、消費者行政の充実を依頼し、行政や各政党からは生協への質問や要望を聞き、交流を深めます。

② 行政や各政党との関係から得た要望や情報は、会員生協に繋げていきます。

(3) 交流と連携を通じ、築き上げてきた団体間とのネットワークをさらに深めます。

① 労働者福祉事業団体の一員として、安心して暮らせる地域社会の実現に向けた取り組みをおこないます。

② 地域課題の解決に向けて協同組合間提携推進協議会が担う新たな役割について、静岡県生協連から提案します。

会員生協紹介

COOP 生活協同組合ユーコープしずおか県本部

ユーコープは、コープしずおか・コープかながわ・市民生協やまなしがひとつになって誕生した生協です。おうちCO-OP(宅配)やお店をはじめ、夕食宅配、共済・保険、リフォーム、家具や衣料品などのカタログショッピング、葬祭などくらしのあらゆるシーンをお手伝いします。

また、組合員の皆さんとともに食の安心・平和・環境・子育てなどさまざまなテーマに取り組んでいます。そして、被災地への継続的な支援やフードバンクへの食料品の提供など社会的な取り組みも広がっています。地域社会の中で、誰もが安心して暮らしていけることがユーコープの願いです。

本部住所	〒420-0031 静岡市葵区呉服町 1-3-14
県本部 TEL・FAX	TEL 054-272-6811 FAX 054-272-6971
代表者名 (設立)	執行役員・しずおか県本部長 宮崎 泰成 (2013年3月21日)
組合員数・事業高(しずおか)	534,181名・520億8425万円
ホームページアドレス	http://www.ucoop.or.jp/

たすけあいの輪をむすぶ

こくみん共済
全国労働者共済生活協同組合連合会 **coop**

静岡県労働者共済生活協同組合 (こくみん共済 coop<全労済>静岡推進本部)

こくみん共済 coop<全労済>は生協法にもとづき厚生労働省の認可を受けて設立された共済事業を行う協同組合です。

営利を目的としない保障の生協として、組合員の皆さまの安心とゆとりある暮らしをめざしています。出資金をお支払いいただいで組合員になれば、各種共済をご利用いただけます。

本部住所	〒420-0839 静岡市葵区鷹匠 2-13-4
代表 TEL・FAX	TEL 054-254-1180 FAX 054-251-2659
代表者名 (設立)	理事長 鈴木 隆博 (1957年6月10日)
組合員数・事業高	474,918名・442億8861万円
ホームページアドレス	https://www.zenrosai.coop/index.html



静岡大学生生活協同組合

当生協は国立大学法人静岡大学を職域として、学生・院生・教職員の福利厚生事業を担っています。静岡・浜松両キャンパスにおいて、食堂(7 店舗)、ショップ(書籍・購買・旅行、コンビニ等 7 店舗)、学生総合共済、住まい事業、公務員講座、パソコン講座、キャリアデザインセミナー等を通じて学生組合員の学びと成長を支援する事業、新入生のひとり暮らしをサポートする学生アドバイザー活動などをすすめています。また、チャージ式の電子マネーと、食堂利用に限定した食事の定期券「食堂パス」のふたつのお財布機能を IC 学生証に搭載しキャッシュレスで店舗をご利用いただけるサービスを提供しています。

本部住所	〒422-8017 静岡市駿河区大谷 836
代表 TEL・FAX	TEL 054-237-2712 FAX 054-237-3205
代表者名 (設立)	理事長 柴垣 裕司 (1962 年 7 月 7 日)
組合員数・事業高	13,105 名・18 億 1297 万円
ホームページアドレス	http://www.shizuokaunivcoop.jp/



SUZUKI スズキ生活協同組合

スズキ生協は、スズキ(株)グループ従業員の出資により、組合員の皆様のより豊かで快適な暮らしを実現できるように福利厚生の一翼を担い、売店(16 店舗)・自動販売機・職場内共同購入・指定店等の各事業を運営しています。

本部住所	〒432-8065 浜松市南区高塚町 300
代表 TEL・FAX	TEL 053-447-3358 FAX 053-449-2961
代表者名 (設立)	理事長 影田 周一 (1963 年 3 月 25 日)
組合員数・事業高	19,637 名・12 億 2704 万円
ホームページアドレス	http://www.suzuki-seikyo.jp



生活クラブ生活協同組合・静岡

生活クラブは地域生協で、生活クラブグループ全体では北海道から関西地域までに33単協あり約40万人の組合員が共同購入活動に参加しています。静岡県内では県東部、中部、西部地域で組合員が生産者とともに「安全・健康・環境」の生活クラブ自主基準に基づいて素性確かな消費材(商品)を作り続け共同購入活動をしています。

本部住所	〒410-0062 沼津市宮前町 21-4
本部 TEL・FAX	TEL 055-923-4828 FAX 055-922-6153
代表者名 (設立)	理事長 榊原 優子 (1987年11月25日)
組合員数・事業高	4,131名・10億7692万円
ホームページアドレス	http://shizuoka.seikatsuclub.coop/



Teacher's CO-OP

静岡県教職員生活協同組合

静岡県内にある公立・私立の幼稚園、小中学校、高等学校、特別支援学校、大学(静岡大学を除く)、教育関係機関の教職員が出資し、運営している職域生協です。主な供給事業は、カタログ・ちらしによる供給事業、巡回供給事業、ガソリン供給事業、指定店供給事業、ハウジング事業、マンション紹介事業、保険事業などです。

本部住所	〒422-8520 静岡市駿河区登呂 6丁目 14-27
本部 TEL・FAX	TEL 054-282-2140 FAX 054-282-9992
代表者名 (設立)	理事長 尾上 友宏 (1997年9月18日)
組合員数・事業高	27,448名・3億74万円
ホームページアドレス	http://www.kyousyokuin-seikyo.com/



浜北医療生活協同組合

浜北医療生協は、「丈夫で長生きしたい」「いざというときに安心してかかれる医療機関が欲しい」という地域の人々の願いを実現するためにつくられました。健康・医療・介護・くらしなど組合員と専門家の協同した力で問題解決のために活動しています。医療事業は、診療所の医療や保健予防活動、介護事業はケアプランの作成、訪問看護、訪問介護、デイサービス、ショートステイを行っています。

本部住所	〒434-0034 浜松市浜北区高畑 18
代表 TEL・FAX	TEL 053-585-5715 FAX 053-584-1551
代表者名（設立）	理事長 間間 元（1997年9月16日）
組合員数・事業高	4,598名・4億4454万円
ホームページアドレス	http://www.mcp-hamakita.jp/

pal*system 生活協同組合パルシステム静岡

パルシステム静岡は、安心な生協商品を通じて、地域のみなさまに「おいしい」をお届けする生協です。生協パルシステム静岡が、みなさまのよりよい生活をサポートします。

展開する事業としては、個人宅配・グループ宅配・法人宅配・共済推進などを行っています。商品カタログは、赤ちゃんから食べ盛りまでのお子様がいる方向けの「コトコト」、子育てを終えられた方を中心に量より質にこだわった「きなり」の2つをご用意しています。

本部住所	〒417-0801 富士市大淵 2297-8
代表 TEL・FAX	TEL 0545-37-1800 FAX 0545-37-1811
代表者名（設立）	理事長 細谷 里子（2007年4月2日）
組合員数・事業高	29,024名・31億1553万円
ホームページアドレス	http://www.palsystem-shizuoka.coop/



あいち生活協同組合

あいち生活協同組合は、愛知県を中心として組合員の生活向上を目的に活動を行ってきました。2011年4月より宅配名称「アイチョイス」として浜松市以西で事業展開しています。

地域オンリーワンを目指し「全商品化学調味料未使用」「全原材料をカタログに掲載」「生産者の顔が見える農産物」など独自のこだわりで組合員さん一人ひとりの暮らしを応援できるよう取り組んでいます。設立以来終始一貫し安全な食を最優先する姿勢を守り続けています。

本部住所	〒457-0041 名古屋市南区薬師通り1-14
代表 TEL・FAX	TEL 052-821-2010 FAX 052-821-2388
代表者名（設立）	理事長 子安 貞継(1989年9月1日)
組合員数・事業高(浜松地区)	5,728名・5億4876万円
ホームページアドレス	http://ichoice-coop.com/

地域購買生協の市町別組合員数(2019年3月現在)

東部地区組合員数 (単位:人)				
市町名	世帯数	2018.3	2019.3	加入率
沼津市	82,305	32,937	33,765	41.0%
熱海市	19,072	4,016	4,143	21.7%
三島市	46,127	18,334	18,590	40.3%
富士宮市	51,219	22,580	22,655	44.2%
伊東市	30,570	8,728	8,820	28.8%
富士市	96,388	48,754	49,580	51.4%
御殿場市	32,883	8,419	8,584	26.1%
下田市	10,007	2,296	2,284	22.8%
裾野市	20,933	8,684	8,821	42.1%
伊豆市	12,142	4,292	4,358	35.9%
伊豆の国市	18,991	6,261	6,360	33.4%
東伊豆町	5,605	4,854	4,905	26.9%
河津町	2,924			
南伊豆町	3,378			
松崎町	2,776			
西伊豆町	3,498			
函南町	14,653			
清水町	12,887	15,647	15,928	43.7%
長泉町	16,932			
小山町	6,590			
合計	489,880	191,086	194,201	39.6%

中部地区組合員数 (単位:人)				
市町名	世帯数	2018.3	2019.3	加入率
静岡市	292,725	112,455	114,177	39.0%
島田市	35,367	18,936	19,146	54.1%
焼津市	52,498	17,860	17,976	34.2%
藤枝市	54,581	20,195	20,416	37.4%
吉田町	10,987	4,502	4,521	32.7%
川根本町	2,825			
合計	448,983	173,948	176,236	39.2%

西部地区組合員数 (単位:人)				
市町名	世帯数	2018.3	2019.3	加入率
浜松市	319,625	113,080	115,772	36.2%
磐田市	64,021	24,993	25,787	40.2%
袋井市	33,398	16,502	17,150	51.3%
菊川市	17,277	5,998	6,233	36.0%
掛川市	43,511	17,904	18,490	42.4%
御前崎市	11,617	3,645	3,754	32.3%
牧之原市	16,067	5,377	5,415	33.7%
湖西市	22,934	5,278	5,369	23.4%
森町	6,316	2,740	2,893	45.8%
合計	534,766	195,517	200,863	37.5%

組合員数合計 (単位:人)				
	世帯数	2018.3	2019.3	加入率
その他		1,128	1,309	
総合計	1,473,629	561,679	572,609	38.8%

* 組合員数は2019年3月現在です。
 * 世帯数は2019年(平成31年)3月1日現在の県統計資料より引用しています。
 * 行政区分は2019年(平成31年)3月現在(35市町)です。

2019 年度 行政等各種委員の状況

	審議会・委員会等	氏名	役職名
県 行 政 関 係	静岡県消費生活審議会 委員	稲垣 滋彦	会長
	静岡県水産振興審議会 委員	稲垣 滋彦	会長
	新たな静岡茶の振興策検討委員会 委員	稲垣 滋彦	会長
	静岡県食と農が支える豊かな暮らしづくり審議会 委員	中村 範子	常務理事
	食の安全推進のための意見交換会 委員	稲垣 滋彦	会長
	静岡県多面的機能支払交付金第三者委員会 委員	中村 範子	常務理事
	ふじのくに消費者教育推進県域協議会 委員	中村 範子	常務理事
	ふじのくに生物多様性地域戦略推進会議	中村 範子	常務理事
	静岡県ごみ減量・リサイクル推進委員会 委員	中村 範子	常務理事
	同 作業部会 委員	山田 和仁	事務局長
	しずおか地産地消推進協議会 委員	中村 範子	常務理事
	同 分科会 委員	山田 和仁	事務局長
	しずおか男女共同参画推進会議 委員	望月 美可	常務理事
	同 部会 委員	山田 和仁	事務局長
	障害を理由とする差別解消推進県民会議 委員	望月 美可	常務理事
浜松市消費者教育推進地域協議会 委員	中村 範子	常務理事	
日 本 生 協 連 関 係	全国職域生協協議会 運営委員	藤崎 稔	理事
	同 購買事業小委員会 委員		
	中央地連運営委員会 委員	宮崎 泰成	専務理事
		中村 範子	常務理事
	中央地連職域生協協議会 委員長	藤崎 稔	理事
中央地連県連活動推進会議 委員	宮崎 泰成	専務理事	
中央地連大規模災害対策協議会 委員	山田 和仁	事務局長	
諸 団 体 関 係	静岡県協同組合間提携推進協議会 副会長	稲垣 滋彦	会長
	同 委員	宮崎 泰成	専務理事
	同 副幹事長	中村 範子	常務理事
	同 事務局	山田 和仁	事務局長
	静岡県労働者福祉協議会 副理事長	稲垣 滋彦	会長
	同 幹事	宮崎 泰成	専務理事
	静岡県労働者福祉基金協会 理事	宮崎 泰成	専務理事
	フードバンクふじのくに 副理事長	宮崎 泰成	専務理事
	静岡県経済連事業審査委員会 委員	中村 範子	常務理事
	消費者問題ネットワークしずおか 幹事長	中村 範子	常務理事
	同 事務局長	山田 和仁	事務局長
	静岡県母親連絡会 運営委員	中村 範子	常務理事
	原水爆禁止静岡県平和行進実行委員会 代表委員	稲垣 滋彦	会長
3・1ピキニデー静岡県実行委員会 代表委員	稲垣 滋彦	会長	
同 運営委員	望月 美可	常務理事	

大規模自然災害等緊急時の対応

平時（事前準備段階）

1. 県生協連と会員生協との緊急時連絡手段は下記のとおりとします。
MCA 無線機は災害時に取り出すことが可能な施設・場所で保管し、通信訓練を行います。
 - (1) 固定電話
 - (2) FAX
 - (3) 携帯電話および携帯電話の電子メール
 - (4) E-mail
 - (5) MCA 無線（800MHZ デジタル機）
2. 夜間・休日時など MCA 無線機が手元にない場合に備え、携帯電話の電子メールも連絡手段のひとつとします。会員生協連絡窓口担当（3～4名）を決めておき、通信訓練を行います。

発災後（初動段階）

1. 事務局職員は、速やかに県生協連事務所（ユーコープしずおか県本部事務所）に参集します。
2. 事務所の使用可否をユーコープしずおか県本部と協議のうえ判断し、対策本部の設置を決定します。
3. 情報伝達ルートを構築します。
【連絡先】
 - (1) 生活協同組合ユーコープ本部
 - (2) 日本生協連本部
 - (3) 会員生協
 - (4) 県生協連役員
4. 会員生協の状況把握を行います。
【状況把握項目】
 - (1) 人的被害状況
 - (2) 施設（本部および事業所等）の被害状況
 - (3) 事業継続の可否
 - (4) 応援要請の有無、応援内容
5. 緊急災害用ラジオなどにより情報収集を行います。
【情報収集項目】
 - (1) 道路・鉄道などの交通状況
 - (2) 電気・ガス・水道・電話などの状況
6. ユーコープしずおか県本部と連携し、静岡県災害対策本部（静岡県庁別館 4 階）、災害ボランティア本部（静岡県総合社会福祉会館 2 階）に参集し、情報収集・ネットワークを構築します。

私たち生協は、SDGs (持続可能な開発目標) に貢献することを約束(コミット)します。

私たちは、「生協の21世紀理念(1997年総会決定)」のもと、助け合いの組織として、誰もが笑顔でくらすことができ、持続可能な社会の実現をめざし、様々な取り組みを進めてきました。

世界から飢餓や貧困をなくし、子どもたちを支援する活動を推進します

私たちは、誰一人取り残さない世界をめざして、世界が抱える問題についての理解を深め、助け合いの精神を貫き、ユニセフ募金などに取り組み、世界の子どもたちを支援します。「貧困」の連鎖をなくしていくために、子どもの貧困について学び、話し合う活動を広げ、子ども食堂やフードバンク・フードドライブなどの取り組みを進めます。



核兵器廃絶と世界平和の実現をめざす活動を推進します

私たちは、「核なき世界」の実現のために、世界の人々と手を携えて、核兵器を廃絶し、平和な社会をめざす取り組みを進めます。私たちは、次の世代に被爆・戦争体験を継承し、日本国憲法の基本原則である平和主義のもと世界平和の実現に積極的に貢献します。



持続可能な生産と消費のために、商品とくらしのあり方を見直していきます

私たちは、「つくる責任」と「つかう責任」の好循環を発展させ、持続可能な社会づくりをめざします。国内外の人々、そして限りある地球資源へ思いをはせ、商品の開発と供給を進めます。学習活動を通じて、エンカル消費や持続可能な社会に関する理解を促進し、私たち自らの消費行動やくらしのあり方を見直していきます。



誰もが安心してくらし続けられる地域社会づくりに参加します

私たちは、誰一人取り残さず、安心してくらし続けられる地域社会づくりに参加します。自治体や諸団体との連携を大切にしつつ、地域の見守り、移動販売や配食事業など、生協の事業や活動のインフラを活用し、地域における役割発揮を進めます。



第 68 回日本生協連通常総会・特別アピール

誰も取り残さないという SDGs のめざすものは、協同組合の理念と重なり合っています。私たちは、あらためて持続可能な社会の実現に向けて取り組むことを、「SDGs 行動宣言」としてまとめました。私たちは、以下の 7 つの取り組みをつうじて、世界の人々とともに SDGs を実現していきます。

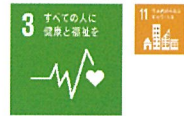
地球温暖化対策を推進し、再生可能エネルギーを利用・普及します

私たちは、地球の持続可能性を揺るがす気候変動の脅威に対して、意欲的な温室効果ガス削減目標（2030 年環境目標）を掲げ、省エネルギーと再生可能エネルギーの導入に積極的に取り組みます。再生可能エネルギーの電源開募や家庭用電気小売を広げ、原子力発電に頼らないエネルギー政策への転換をめざします。



健康づくりの取り組みを広げ、福祉事業・助け合い活動を進めます

私たちは、食生活、運動、社会参加の視点から健康づくりを進めます。安全・安心はもとより、より健康な食生活に向けた商品事業と組合員活動を推進します。生活習慣病や介護予防など「予防」を重視し、福祉事業や助け合い活動を広げ、自治体や諸団体と連携し、地域包括ケアシステムのネットワークに参画します。



ジェンダー平等（男女平等）と多様な人々が共生できる社会づくりを推進します

私たちは、地域における活動を通じて、社会のジェンダー平等と多様な人々が共生できる社会の実現に貢献します。女性も男性も、誰もが元気に、生きがいを持って働き続けられる生協づくりを進めます。



しずおかの生協（2019年度版） 2019年10月発行
静岡県生活協同組合連合会

〒420-0031 静岡市葵区呉服町 1-3-14 YS 静岡呉服町ビル 8F

TEL 054-253-5987 FAX 054-272-6971

URL <http://shizuoka-kenren.jp/>